

## 18 第2次中期財政計画の進捗状況

第五次総合計画の実現に必要な財源を確保しつつ、中長期的に健全で持続可能な財政運営を図るため、平成24年度に第2次中期財政計画（計画期間：平成25年度～平成29年度）を策定しました。

平成26年度の実績は次のとおりです。

### 1 平成26年度の収支状況

（単位：億円）

計画値	収入	894.7
	支出	907.4
	差引	△ 12.7
実績値	収入	956.0
	支出	928.4
	差引	27.6

収入は、前年度からの繰越金（計画値+31.7億円）のほか、雇用の増加、企業収益の向上等による市税の増加（同+9.2億円）、財政調整基金の活用（同+16.6億円）などにより、計画より多くなりました。

収入のうち市債の発行額は、普通交付税の代替財源である臨時財政対策債の発行可能額が減少した（計画値△6.9億円）ことなどにより、計画より9.7億円削減できました。

支出は、財政調整基金への積立を増やした（計画値+15.4億円）ほか、商工業振興のための助成の増加などにより、計画より多くなりました。

また、国・県の給付金制度（臨時福祉給付金 4.4億円、子育て世帯臨時特例給付金・子育て支援減税手当 8.4億円）への対応が、収入、支出両方の増額に影響しました。

### 2 目標達成への進捗状況

#### ① 一般会計の実質収支の黒字を堅持する。

【実質収支】

（単位：億円）

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
計画値	△ 14.7	△ 12.7	△ 4.3	△ 4.4	△ 0.3
実績値	30.7	25.6			

※実質収支とは、「収入－支出」から「翌年度に繰り越すべき財源」を控除したものです

#### ② 平成29年度末の全会計の市債残高を平成24年度末残高より100億円以上削減する。

【市債残高】

（単位：億円）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	削減額
計画値	1,502	1,501	1,475	1,462	1,441	1,414	88
実績値	1,499	1,473	1,438				61

#### ③ 平成29年度決算に基づく財政健全化判断比率を改善する。

【財政健全化判断比率】

（単位：％）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	目標値
将来負担比率	82.0	78.4	71.5				70.0
実質公債費比率	8.2	8.0	7.6				6.0